

統合医療推進の活動報告

みえメディカルバレープロジェクトでは、地域資源を活用した県民の健康増進と産業振興を図るため、平成20年度から新しく「統合医療・予防医学の推進」を基本方向に加えています。統合医療に関する今年度の活動状況をご報告します。

三重県にアンドルー・ワイル医学博士を招聘しました



元丈の里・中山薬草薬樹公園にて

アメリカのTime誌で「今、最も影響力のある25人のアメリカ人」に選ばれた経験を持つ、統合医療^(※1)の世界的権威アンドルー・ワイル医学博士(アリゾナ大学教授)。メディカルバレープロジェクトの産学官メンバーは、ワイル博士を平成21年5月24日~25日に三重県へ招聘し、関連施設の視察や意見交換会を行いました。

自然環境に恵まれた三重県は、もともと薬草文化が根付き、製薬業が盛んな地域で、江戸時代から地域の豊かな薬草など天然資源を活用する本草学者を数多く輩出してきました。ワイル博士は、日本薬草学の先駆者、野呂元丈の生誕地である多気町の「元丈の里」を訪問し、敷地内の「中山薬草



薬草の足湯

薬樹公園」で様々な薬草・ハーブを熱心に観察したほか、「元丈の館」での薬草料理の試食や薬草を使った足湯での地元の方々との交流を行いました。

また、ワイル博士は「クリスタルの森^(※2)」のオープニングイベントに参加し、多気町有機農業研究会が誇る有機栽培トマトのジュースを試飲した後、トマトの苗の植え付けを行いました。さらに同研究会の畑に足を運び、採れたてのトマトの味を楽しんで、健康的な美味しさと生産者の思いに感銘を受けていました。

これらの視察を踏まえ、メディカルバレープロジェクト関係者は、三重県で統合医療を推進するためのアドバイスを求めて、ワイ



伊勢神宮参拝

ル博士との意見交換会を開催しました。多数の参加者と活発な議論をした後、ワイル博士は、「統合医療とは西洋医学を否定するのではなく“プラスアルファの医療”。たとえばある病気の治療なら、西洋医学の治療法に加え、薬草・栄養学などを活用し、治療効果を高めること」と改めて統合医療の考え方を述べ、「三重県には、歴史・資源・人材と統合医療を進める基盤が揃っていて、日本におけるモデル地域になることが期待できる。特に健康ツーリズムが成功しそうだが、統合医療の施術を受けられるところがあればもっといいだろう。もう一度三重に来たいし、これからも協力したい」と語りました。

意見交換会終了後には、その開催場所

であり、健康文化都市を宣言する伊勢市長との面談、伊勢神宮・内宮の早朝参拝、食の神様を祀る外宮への参拝を行い、三重県が持つ環境の素晴らしさを実感した様子でした。

今後もメディカルバレープロジェクトでは、研究から実際の取組まで、ワイル博士とのコラボレーションを進めていく予定です。

※1 統合医療

西洋医学と世界各地の伝統医療・予防医学を個人に応じて組み合わせ、症状の緩和や病気の予防を含めた全体的な視点で健康を目指すものです。その中には、今回三重県で注目された薬草の利用、健康に配慮した食物摂取、豊かな環境での生活なども含まれます。

※2 クリスタルの森

多気町の有志団体が中心となり、荒廃した竹林を再生した広場。地域住民の協力によって芝生、花壇、自然農園などが整備され、環境を考える憩いの場として利用されています。

「医食同源みえ」の活動について代表の西村三重大学教授に聞きました

みえメディカルバレープロジェクトにおける統合医療推進の動きから、産学官の有志で構成するグループ「医食同源みえ」が生まれました。同プロジェクトが定めた方向性に準じて様々な取組を展開し、そこから新しいビジネスを興していくことが、医食同源みえの役割です。現在は、伝統的な医療(鍼灸・漢方)、薬草、食育、健康ツーリズム等、三重県の地域資源を活かした補完代替医療の研究・啓発およびそこから派生する事業を育てていくことに取り組んでいます。上記のワイル博士招聘と右記の沖縄視察も、当プロジェクト事務局と医食同源みえが共同で行いました。

私たちが考える「医食同源」とは、食や薬草などの伝統的な地域資源と現代医療を組み合わせることで健康増進を図ることで。例えば、ビタミンCが豊富なある野菜を見ると、旬の季節は確かにビタミンC量が多いけれど旬以外は少ないということがあります。野菜が持つ機能をよく理解してうまく選ぶことで健康にいいレシピが提供でき、そのようなデータをたくさん集めることにより産業育成にも貢献できると考えられます。

医食同源みえは、三重県の「美し国おこし・三重」のパートナーグループにも登録しています。関連する県内外のグループとのネットワークを構築しながら、地域資源を活用し

た健康増進を推進する動きを加速させ、ひいては、三重県が「医食同源の考え方に基づく健康づくり」の先進地域になることを目指しています。

(取材協力:「医食同源みえ」代表・三重大学医学系研究科教授 西村訓弘さん)



医食同源みえとメディカルバレー関係者がワイル博士と意見交換会を実施

統合医療の先進地域・沖縄を視察しました

沖縄県では、各地で活発に統合医療を進めています。メディカルバレープロジェクトを推進する産学官のメンバーは、三重県で統合医療を推進するヒントを求め、琉球大学で健康長寿の秘訣を研究する先生方、薬草を使った食品を製造販売する企業、ワイル博士と関わった方々、漢方・鍼灸・温熱療法・未病ケアなど統合医療を実践するクリニック、健康産業を振興するプロジェクトの事務局などの視察や面談を行いました。

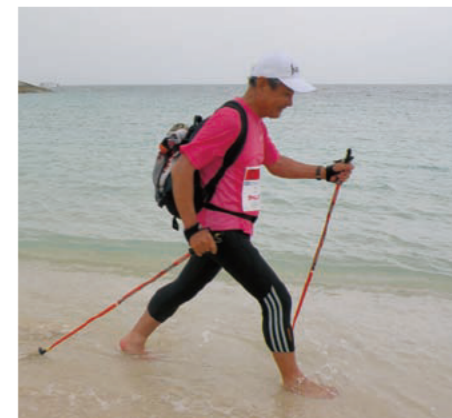
その中で特に注目したいのが、統合医療の推進に市長自ら熱心に取り組んでいる南城市です。市内に多数存在する「聖地」(三重県での伊勢神宮や熊野古道にあたる歴

史文化遺産)と美しい自然に触れながら健康づくりを目指す健康ツーリズム「南城ウォーク」が人気です。また、リハビリセンターや宿泊施設を有した、統合医療を受けるための施設を民間企業が整備中です。



南城ウォーク

「統合医療は人間らしさに回帰するためのサポート」などのお話は、大変参考になりました。



水辺でノルディックウォーク